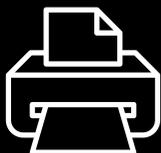


# ユーザーマニュアル

日本語

## 6175

## マネーカウンティングスケール



## 印刷版

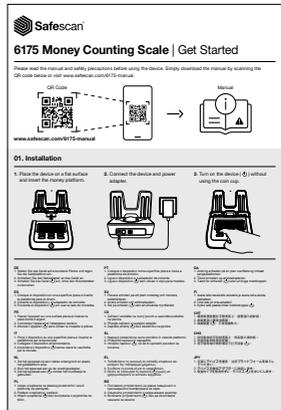
[ここをクリック](#)すると、選択した言語の印刷版マニュアルが表示されます。

## 目次

<a href="#">1.パッケージ内容</a>	04
<a href="#">2.Safescan 6175</a>	05
<a href="#">3.ディスプレイとボタン</a>	06
<a href="#">4.初回使用時</a>	07
4.1.インストール	
4.2.設定地域（使用場所）	
4.3.通貨を選択する	
<a href="#">5.カウント方法</a>	10
5.1.コインの数え方	
5.2.紙幣の数え方	
5.2.1.台の上の紙幣が多すぎる	
5.2.2.不適切な重量を検出	
5.3. 同じ通貨単位の旧紙幣と新紙幣のカウント	
5.4. コインロールのカウント	
5.4.1.自動コインロール認識 [自動] によるコインロール/バッグのカウント	
5.4.2.同じ重量のコインロール/バッグを数える	
5.4.3.通貨単位ごとのコインロール/バッグの数え・表示	
5.5.カウントの終了	
5.5.1.現在の集計結果を表示する	
5.5.2.カウント結果のクリア/修正	
5.5.3.保存/印刷*/銀行の設定/参照追加	
5.5.4.Safescan MCS へのカウント結果のエクスポート	
5.5.5.新しいカウントを開始する	

<b>6.メニューと操作方法</b>	24
6.1.一般的な操作方法	
6.2.メニュー構成	
6.3.新しいカウント	
6.4.計量器	
6.5.通貨	
6.6.コインロール/バッグ、紙幣束、非現金アイテム、2番目の コインカップの較正	
6.7.非現金アイテムの較正	
6.7.1.バウチャーの較正	
6.7.2.トークンの較正	
6.8.2 つ目のコインカップの較正	
6.9.デバイスの設定	
6.9.1.サブメニュー - 構造	
6.9.2.時刻と日付の設定	
6.10.保存された集計結果を見る	
6.11.すべてのカウントを消去	
<hr/>	
<b>7.カウントメニューと操作</b>	47
7.1.カウントメニューを開く	
7.2.カウントメニュー構成	
7.3.カウントを保存する	
7.4.銀行の設定	
7.5.参照番号を設定する	
7.6.印刷	
<hr/>	
<b>8.トラブルシューティング</b>	53
<hr/>	
<b>9.充電電池（別売）</b>	59
9.1.Safescan LB-205 充電電池の取り付け	
9.2.二次電池の状態表示	
<hr/>	
<b>10.更新</b>	60
<hr/>	
<b>11.安全に関する注意事項</b>	61
<hr/>	
<b>12.別売の付属部品</b>	63
<hr/>	
<b>13.仕様</b>	64

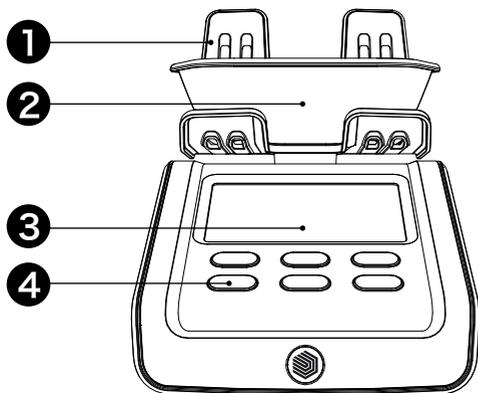
# 1.パッケージ内容



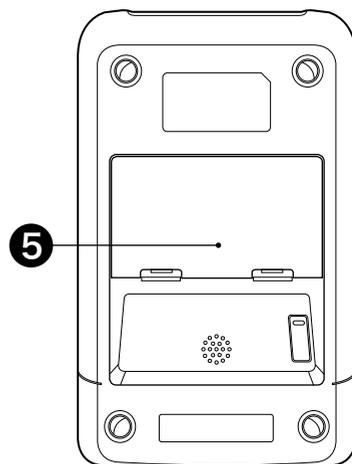
1. Safescan 6175 マネーカウンティングスケール
2. マネー台
3. コインカップ
4. USB / MCS 接続ケーブル
5. 電源アダプタ (12V/0.5A、6W)
6. 基本操作リーフレット/安全手順

## 2.Safescan 6175

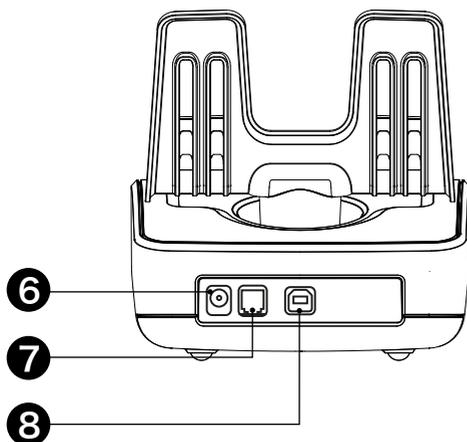
### 正面



### 底面

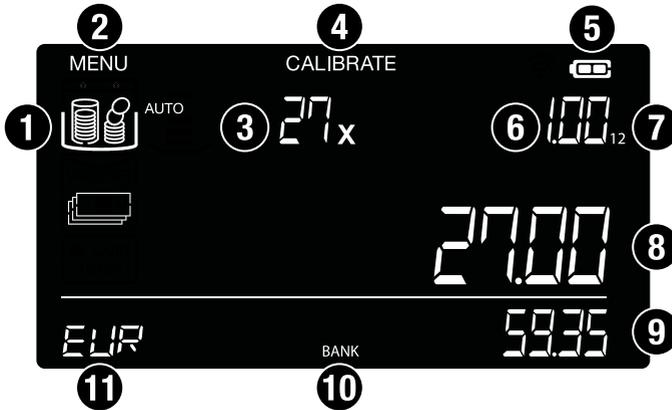


### 背面

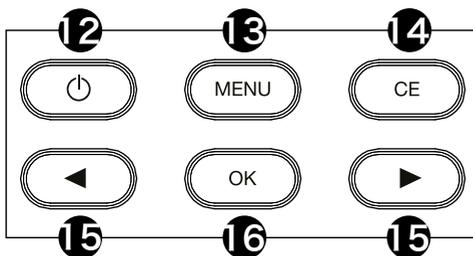


1. マネー台
2. コインカップ
3. 液晶ディスプレイ
4. コントロールキー
5. 電池ボックス
6. 電源コネクタ
7. プリンターコネクタ
8. USB / MCS 接続ポート

### 3.ディスプレイとボタン



1. 現金価値のあるもの（コイン、紙幣、紙幣束、非現金アイテム）
2. 設定メニュー
3. 数量
4. 較正メニュー
5. 電池残量表示
6. 通貨単位
7. 通貨単位バージョン
8. 現在値/台の上の値
9. 合計カウント値
10. アクティブバンク機能
11. 通貨

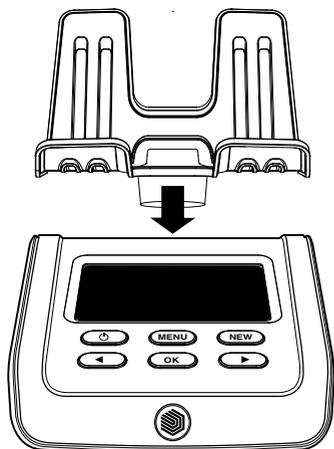


12. 電源のオン/オフ
13. 設定メニューを開く
14. エントリ/バックをクリア
15. ナビゲーションキー
16. 選択を確認/合計に値を追加

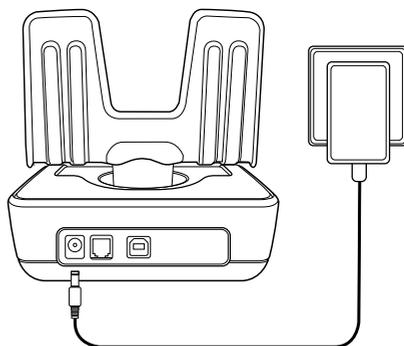
## 4.初回使用時

### 4.1.インストール

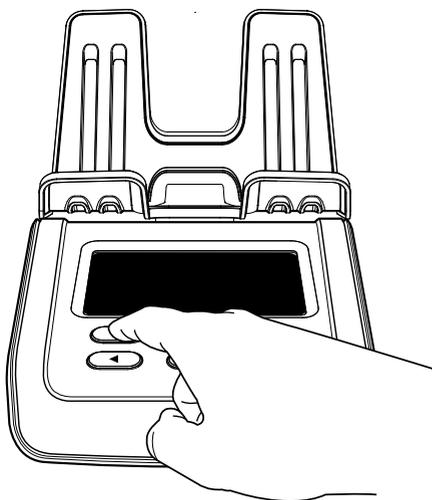
1. 平面にデバイスを置き、決済プラットフォームを挿入してください。



2. 本機を電源アダプタに接続します。



3. デバイス(⏻)をオンにします。



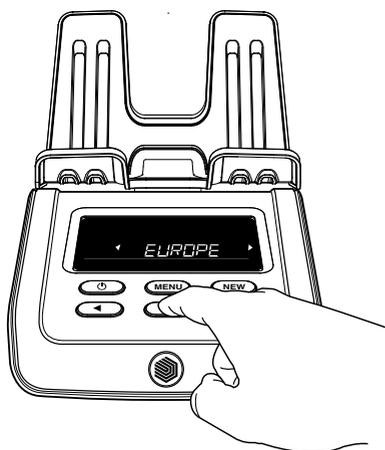
**注記: 装置の電源を入れるときは、コインカップをマネー台の上に置かないでください!**

## 4.2.設定地域（使用場所）

1. デバイスの電源が入った後、使用される地域/場所を選択してください。
2. 矢印キー (◀▶) を使用して、使用可能な地域 (EUROPE、UK、USA、S-E ASIA、AUSTRALIA) を切り替えることができます。



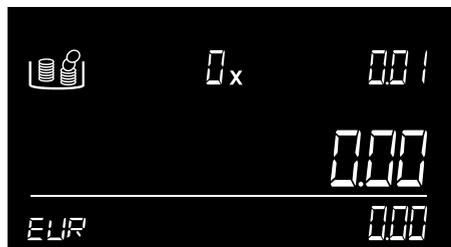
3. 正しい地域を選択したら、[OK] をクリックします。



## 4.3.通貨を選択する

---

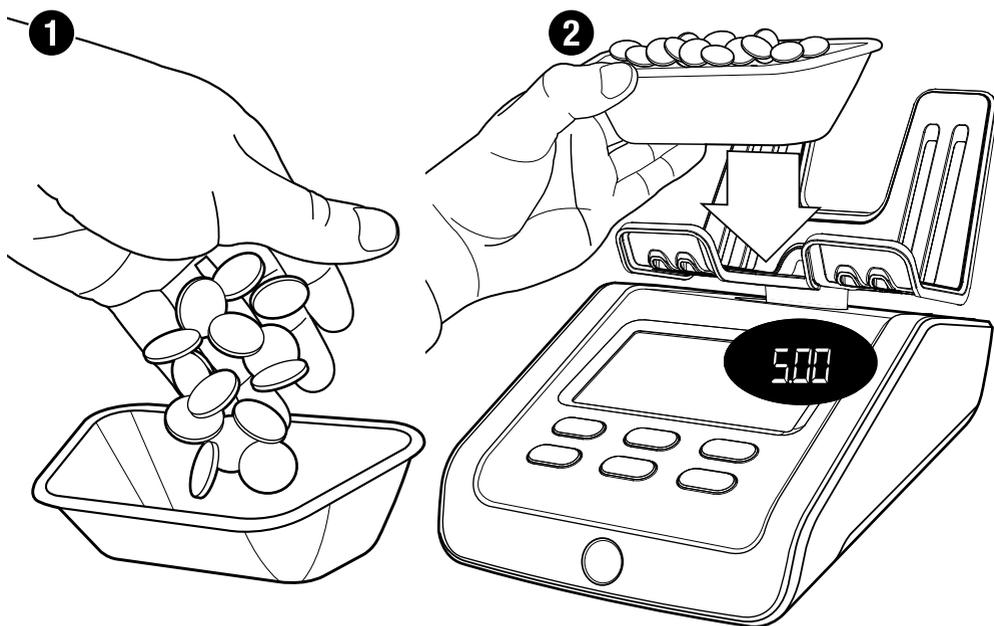
1. 次に、矢印キー (◀▶) を使用して、既定の通貨を選択したら、**[OK]** をクリックして設定を保存します。
2. カウントモードをアクティブにするので、最小通貨単位からカウントを開始できます。



## 5. カウント方法

注記：一度に1つの通貨単位を数えます。計数の効率を図るために、コインや紙幣は事前に仕分けておいてください。コインを数えるときは、必ずコインカップを使用してください。

### 5.1. コインの数え方

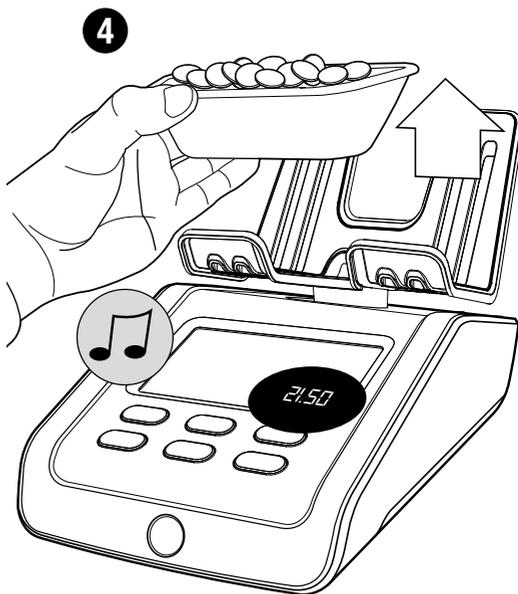


通貨単位は装置の画面右上に表示されます。表示されている通貨単位のコインをコインカップに入れます。

すべてのコインを運んだら、コインカップを装置のマネー台に置きます。



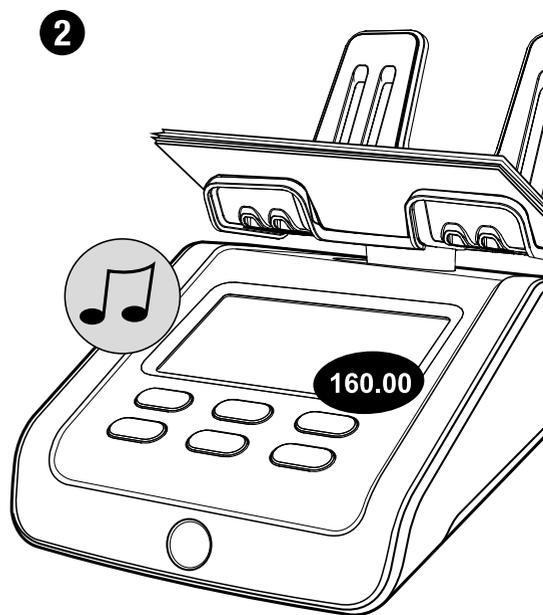
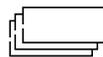
コインの数量と金額が表示されます。カウントを終了すると、確認するビープ音が鳴ります。



台の上にあるコインカップを取ります。カウント結果が合計に加算され、確認するビープ音が鳴ります。

6175 は自動的に次の通貨単位に切り替わります。または、(◀▶) ボタンを使って、通貨単位を選択します。6175 は、最高額通貨単位のカウントが終了すると、自動的に最低額通貨単位に切り替わります。

## 5.2.紙幣の数え方



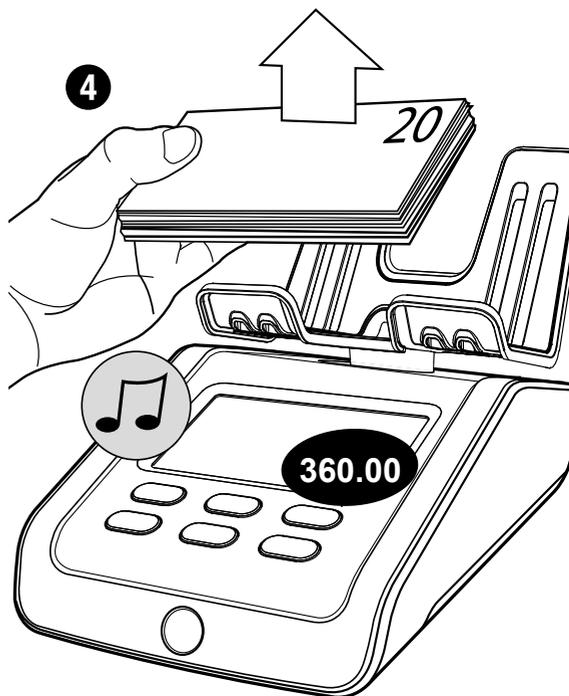
すべてのコインを数えたら、次に紙幣を数えます。画面右上に表示されている通貨単位から開始します。

表示された通貨単位の紙幣を、装置のマネー台に置きます。正確なカウントを行うために、最大 25 枚の紙幣を小分けにしてください。

紙幣のカウントが終了すると、[ピッ] という音がします。そして、ディスプレイには紙幣の総数と価値が表示され、その価値が合計に加算されます。



最初の札束は札束の上に置いておき、同じ通貨単位の次の札束を追加します。選択した通貨単位の紙幣がすべて数えられるまで、積み重ねを続けます。



すべての紙幣を同時に台から取り出します。紙幣のカウントが終了すると、[ピッ]という音がします。その値は合計に加算されます。6175は、自動的に次の通貨単位に切り替わります。

## 5.2.1. 台の上の紙幣が多すぎる

---



台に置かれた紙幣が多すぎます。[削除 ...-... 個] と表示されます。6175 が紙幣の量を判断できるまで、提案された枚数の紙幣だけを取り出します。小バッチで台の上に紙幣を追加し続けます。

## 5.2.2. 不適切な重量を検出

---



不適切な重量を検出: 6175 は、台の上の紙幣の適切な量を決定できません。[一部削除] と表示されます。6175 が紙幣の量を判断できるまで、数枚の紙幣を取り出します（一度に最大5枚まで）。小バッチで台の上に紙幣を追加し続けます。

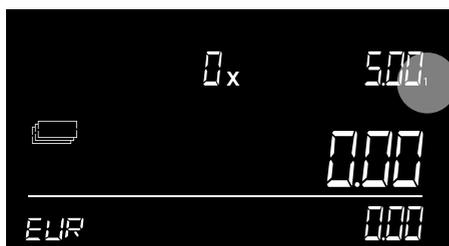
### 5.3.同じ通貨単位の旧紙幣と新紙幣のカウント

---

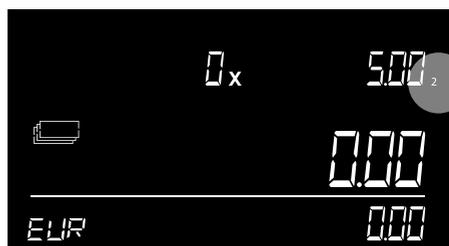
旧紙幣と新紙幣（通貨単位）の重量差が一定の範囲内であれば、両紙幣を一緒にカウントできます。最初に選別する必要はありません。なお、一度にカウントできる紙幣は最大 20 枚までですのでご注意ください。

異なるバージョンの重量差が制限内でない場合、Safescan 6175 は別々にカウントするよう求めることがあります。

バージョンはディスプレイに表示されます。



バージョン 1 は旧紙幣



バージョン 2 は新紙幣です。

---

プリインストールされている通貨の新バージョンや通貨単位がリリースされた場合、Safescan 6175 の通貨更新ファイルを [www.safescan.com](http://www.safescan.com) から無料でダウンロードできます。

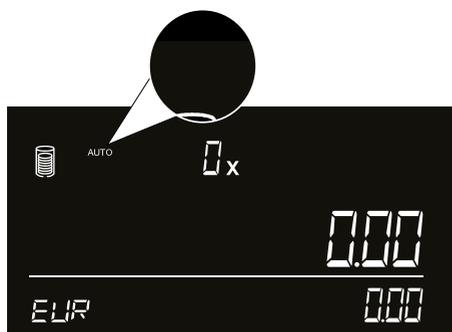
## 5.4.コインロールのカウント

---

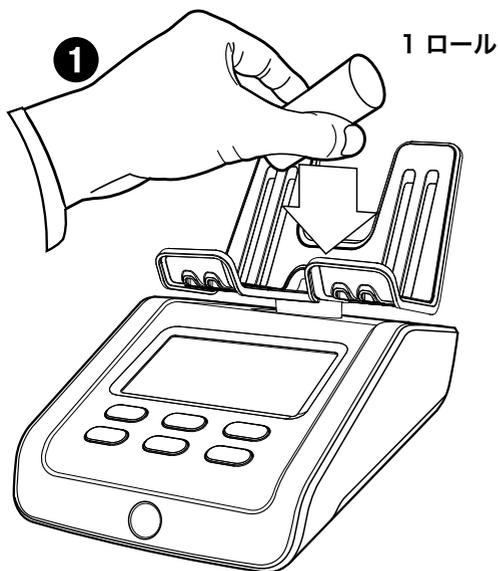
コインのロールが完全にそろっているものだけをマネー台に置きます。これは、コインロールに正しい量のコインが含まれており、これらのコインがすべて同じ通貨単位および通貨であることを意味します。

**EUR、GBP、USD と HKD** のコインロールの重量は、デバイスで事前に調整されています。他の通貨のコインロールの重量は、手動で較正できます。[4.2.6. コインロールの較正方法] を参照してください。

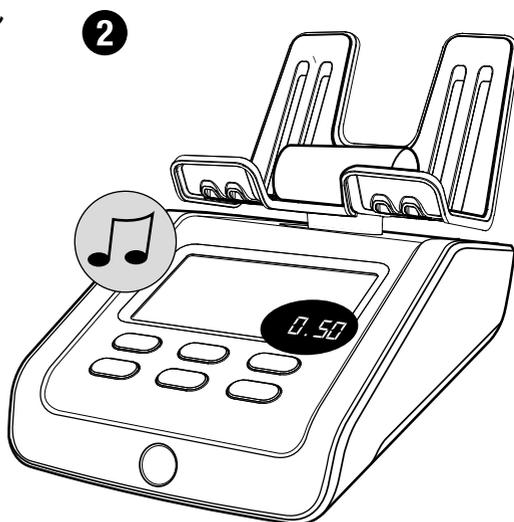
## 5.4.1.自動コインロール認識 [自動] によるコインロール/バッグのカウント



コインロールの自動認識は、バラ紙幣を数えた後、直接開始されます。画面に **[自動]** アイコンが表示されます。



選択した通貨のコインロールを 1 枚、マネー台上に置きます。



コインロールを確認すると、ビープ音が鳴ります。数量、金額、ロール通貨単位がすぐに表示されます (2 秒)。その後、コインロールの合計数量と価値が表示されます。

3

+1 ロール  
+1 ロール  
+1 ロール



4



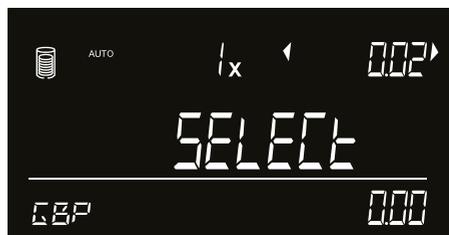
他のコインロールを台上に追加し、確認のビープ音を待ってから次のコインロールを追加します。この作業を繰り返し、すべてのコインロールが台の上に乗ってカウントされるまで、1枚ずつコインロールを追加していきます。

マネー台からすべてのコインロールを取り除きます。カウント結果が合計に加算されます。

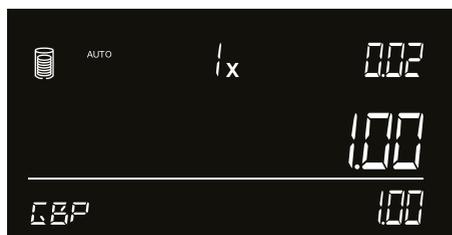
自動ロール機能は、香港通貨では使用できないことにご注意ください。5.4.3. の手順で行ってください。

## 5.4.2. 同じ重量のコインロール/バッグを数える

通貨によっては、通貨単位が違っていても重量が同じようなコインパッケージがあります。Safescan 6175 は、このようなパッケージが検出されると、正しい通貨単位を選択する機会を提供します。本機能の操作方法については、以下の例をご参照ください。

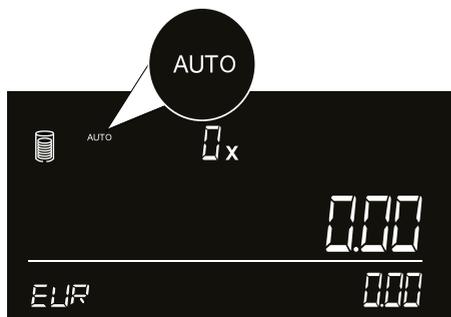


1. 共通の重量を持つ通貨単位パッケージを検出しました。[選択] メッセージが表示され、矢印が点滅しています。
2. (◀▶) ボタンを使用して、台の上に置かれるコインロール/バッグの通貨単位を選択します。

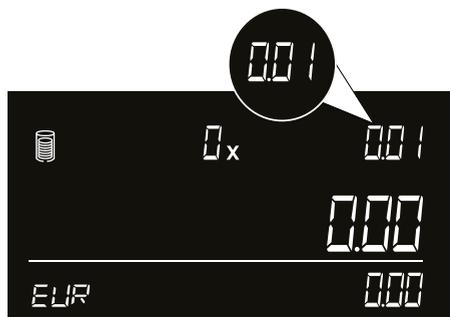


3. [OK] を押して、コインロール/バッグの通貨単位を確認します。集計結果を合計に追加します。
4. 2 秒後に通貨単位表示が消えます。次のコインロール/バッグを受け取る準備ができています。

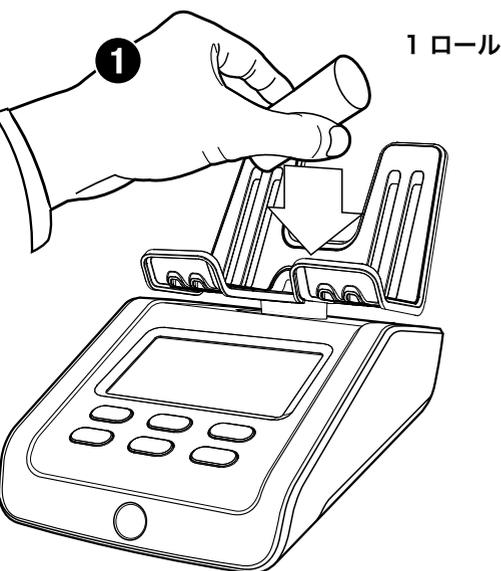
## 5.4.3. 通貨単位ごとのコインロールまたはバッグの数え・表示



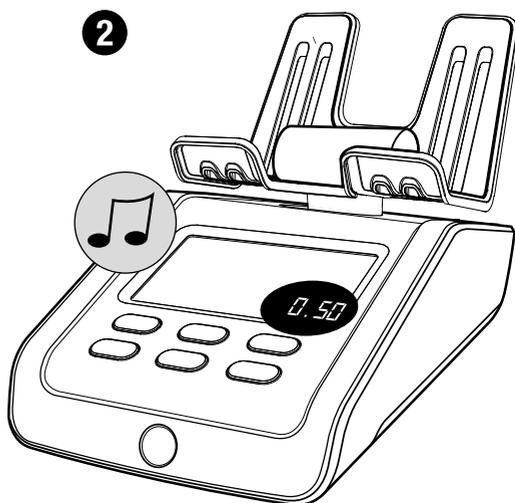
コインロールを通貨単位ごとに数えるには、(◀▶) ボタンで、[自動] コインロールを数えます。[OK] を押します。



(▶) ボタンを使って、最初に利用可能なコインロールの通貨単位を選択します。



選択した通貨単位のコインロールを 1 枚、マネー台上に置きます。



コインロールを確認すると、ビープ音が鳴ります。数量、金額、ロール通貨単位が表示されます。

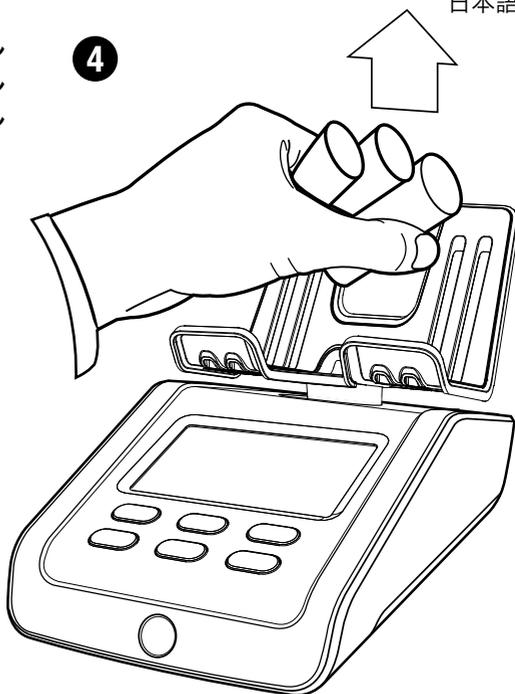
示

3

+1 ロール  
+1 ロール  
+1 ロール



4



選択した通貨単位のコインロールを台上に追加し、確認のビープ音を待ってから次のコインロールを追加します。この作業を繰り返し、この通貨単位のコインロールがすべて壇上に並ぶまで、1枚ずつコインロールを追加して数えます。

マネー台からすべてのコインロールを取り除きます。カウント結果が合計に加算されません。本デバイスは自動的に次のコインロールの通貨単位に切り替わります。

## 5.5.カウントの終了

---

### 5.5.1.現在の集計結果を表示する

---

コインロールのカウント結果を表示するには、(◀▶) ボタンを使用して**[自動]** コインロールを選択し、**[OK]** を押して別のコインロール結果を表示します。

### 5.5.2.カウント結果のクリア/修正

---

カウント中はいつでも、カウント項目をクリアしたり、カウント結果を追加したりできます。(◀▶) ボタンを使用して、変更する必要がある項目に切り替えるだけです。この時点から、次のことができるようになります。

- 選択したカウント項目を追加して、カウントを完了します。
- **[CE]** を押すと、選択したカウント項目のカウント結果がクリアされます。完全なカウントをクリアしたい場合は、**メニュー**項目の説明に従って新しいカウントを開始します。

### 5.5.3.保存/印刷\*/銀行の設定/参照追加

---

Safescan 6175 は、カウントに必要なすべての機能を備えた便利なカウントメニューがあり、結果をエクスポートできます。

カウント中に **[OK]** を押すだけで、カウントメニューにアクセスできます。詳細については、第7章をご参照ください。

#### \* カウント結果の印刷

---

カウントが終了したら、オプションの Safescan TP-230 プリンターでカウント結果を印刷できます。

## 5.5.4.Safescan MCS へのカウント結果のエクスポート

---

Safescan 6175 をコンピュータに接続し、カウント結果をエクスポートします。[Safescan Money Counting Software] 開始します。単一のカウントを行う場合は、[ライブカウント] アイコンをクリックして現在のカウントを表示し、[同意] ボタンを押してカウント結果を保存します。6175 のメモリに 1 つ以上のカウントを保存したら、[カウントデータ] のアイコンをクリックして、これらのカウント結果を Safescan 6175 からコンピュータにダウンロードします。詳細については、Safescan MCS Software のマニュアルをご参照ください。マニュアルは、[www.safescan.com](http://www.safescan.com) からダウンロードできます。

## 5.5.5.新しいカウントを開始する

---

新しいカウントを開始するには、[メニュー] を押します。ディスプレイに [新しいカウント] と表示されます。[OK] を押して確定します。

## 6.メニューと操作方法

---

この章では、Safescan 6175 の操作方法と各メニュー構成について説明します。

### 6.1.一般的な操作方法

---

特定のアクションが必要な場合、または複数のオプションが可能な場合は、(◀▶) ボタンを使用してナビゲートできます。ナビゲーションが可能な場合、またはメニューで選択が必要な場合、画面に2つの矢印が点滅表示されます。例:



2つの点滅する矢印は、利用可能なメニュー項目の間を移動できることを示します。

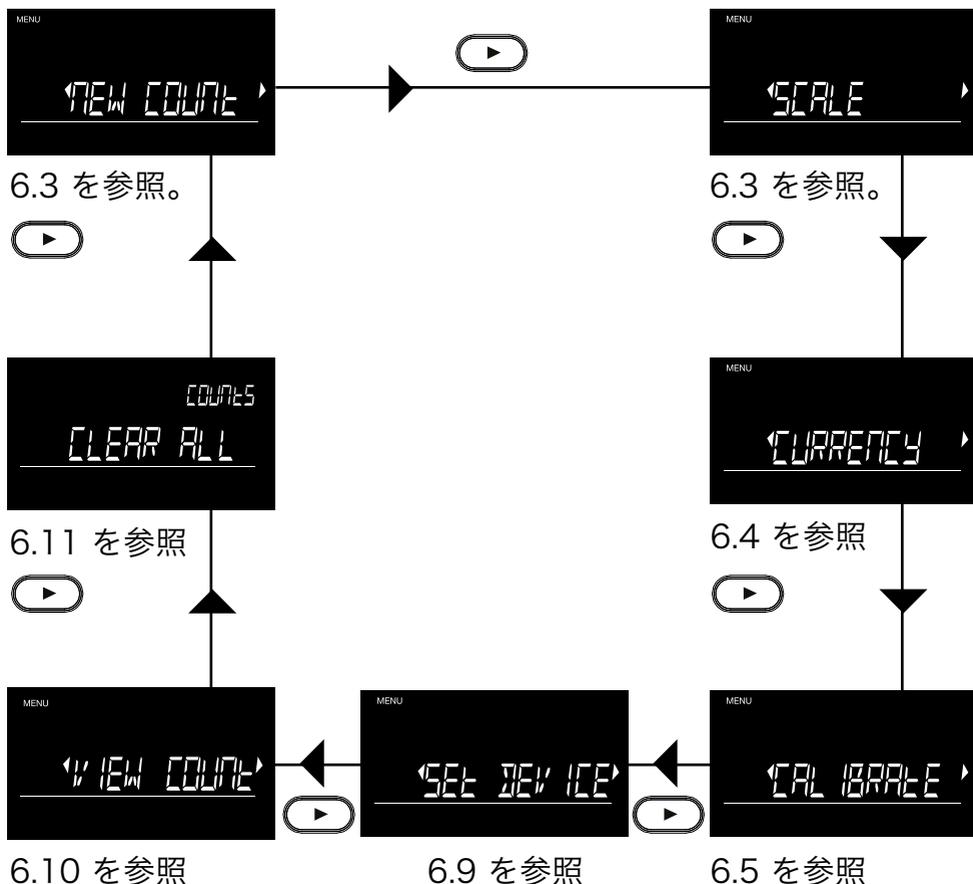


番号を選択する必要があるときは、2つの矢印が点滅します。

**[OK]** ボタンを押して選択を確定します。前のステップに戻るには、**[CE]** ボタンを押します。

## 6.2.メニュー構成

[メニュー] ボタンを押すと、デバイスメニューに入ることができます。アイテム間を移動するには、(◀▶) ボタンを使用します。オプションを入力するには、[OK] を押します。メニューの構成は次のとおりです。

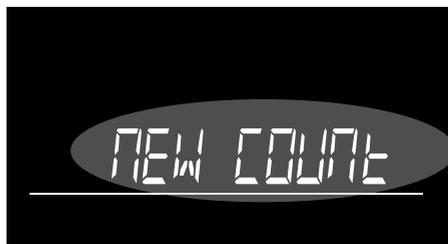


## 6.3.新しいカウント

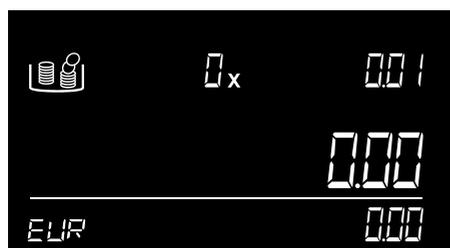
---



新しいカウントを開始し、既存の結果をすべて消去する場合は、**[新しいカウント]**画面が表示されたときに**[OK]**を押します。



文字が点滅し始めます。**[OK]**をもう一度押して確認します。



機器は完全にゼロに戻されたカウント画面に戻ります。

## 6.4.計量器



計量器機能を有効にするには、**[OK]** を押します。



これで画面が計量モードに切り替わります。



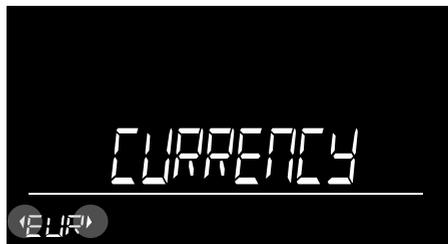
0.05 g の精度で物を量ることができます。

カップなどのデフォルトのアイテムが配置されているときに **[OK]** を押すと計量器の風袋引きを行うことができます。**[\*]** が表示され、値がゼロに戻ります。デフォルトのアイテムが削除されると、その重量は負の値として表示されます。

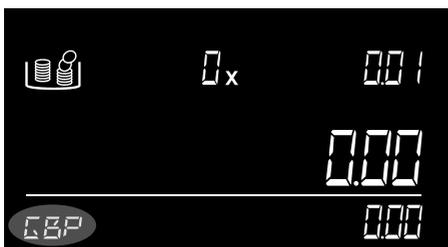
## 6.5.通貨



通貨を変更する場合は、**[通貨]**画面が表示されたら、**[OK]**を押します。



アクティブな通貨が表示され、2つの矢印が点滅します。(◀▶)を使用して、目的の通貨に移動します。



**[OK]**を押すと、マシンはカウント画面に戻り、選択した通貨が表示されます。

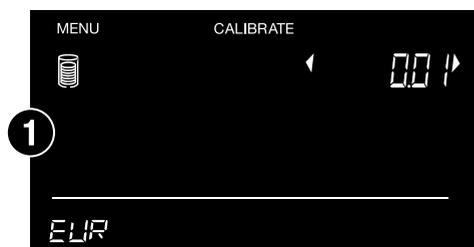
## 6.6.コインロール、コインバッグ、紙幣束を校正します。 非現金アイテムまたは 2 つ目のコインカップ



Safescan 6175 は、コインや紙幣の他に、コインロール、コインバッグ、紙幣束、非現金アイテムを数えることができ、2 つ目のコインカップを認識できます。ただし、これらの項目は、最初に校正を行う必要があります。校正モードに入るには、**[校正]** 画面が表示されているときに **[OK]** を押します。校正モードでは、(◀▶) ボタンを使用して目的の通貨単位に移動します。次の校正項目に切り替える場合は、**[メニュー]** を押します。コインロール→紙幣束→パウチャー→トークン→2 つ目のコインカップの順で並んでいます。

束ねられた各アイテム（コインロール/バッグと紙幣束）の校正プロセスは同じで、次のようになります。

### コインロール/バッグと紙幣束の校正



例：コインロールの場合。目的の通貨単位に移動し、(◀▶) で、**[OK]** を押して、確定します。



今度は空の（その通貨単位の）コインロールを5個、台の上に置いてください。



ここで、機器が確認を求めています。**[OK]** を押してください。



コインロールを取り外して、次の較正ステップに進みます。



(◀▶) ボタンを使用してロールに含まれるコインの数を選択し、**[OK]** を押します。



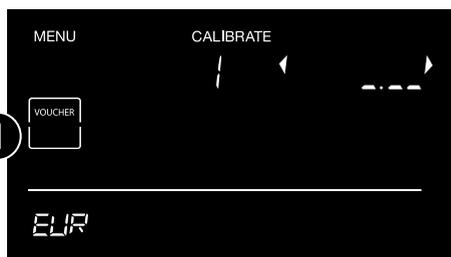
**[OK]** を押して保存します。これで、ロールの較正が完了し、機器に保存されました。

これで、較正メニューは次の通貨単位に移ります。上記のように希望の通貨単位を選択してプロセスを繰り返すか、**[OK]** を押して較正モードを終了します。次の較正項目に切り替える場合は、**[OK]** ボタンを使用します。

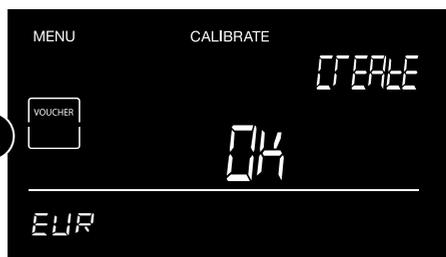
## 6.7.非現金アイテムの較正

Safescan 6175 は、バウチャー、クーポン、トークン、チップなどの非現金アイテムのカウントも可能です。以下の手順で、これらの項目を較正し、カウントメニューで利用できるようにします。

### 6.7.1.バウチャーの較正



(◀▶) / (メニュー) ボタンを使って [バウチャー] に移動し、[OK] を押します。



[OK] をもう一度押して、バウチャーの較正を確認します。



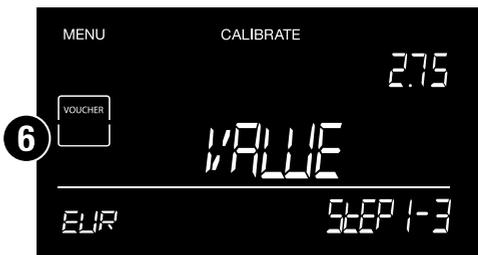
(◀▶) ボタンを使って、1桁目の数字を設定します。例えば [2]。[OK] を押して、この数字を使用します。次の桁の数字が点滅を開始します。



(◀▶) ボタンを使って、次の桁の数字を設定します。例えば [7]。[OK] を押して、この数字を使用します。次の桁の数字が点滅を開始します。



(◀▶) ボタンを使って、次の桁の数字を設定します。例えば [5]。[OK] を押して、この数字を使用します。次の桁の数字が点滅を開始します。



例：バウチャーの価値は2.75 [OK] を押して確定します。275 の入力は、自動的に以下の値に変換されません。2.75 (小数点以下は [.75] とする)。

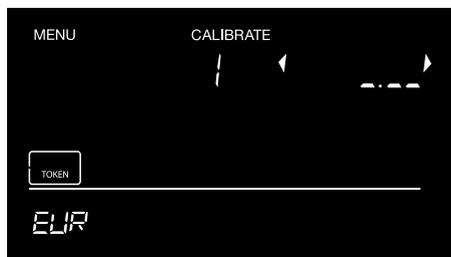


バウチャーを 10 枚、台の上に置きます。バウチャーの計量が終わると、装置は [ピッ] と音を立てます。[OK] を押して確定します。



[OK] を押して、バウチャー設定を保存します。本機は自動的に次のバウチャーに切り替えて較正を行います。[OK] を押して次のバウチャーを較正するか、[CE] を押して較正メニューを終了します。

## 6.7.2.トークンの較正



(◀▶) / (メニュー) ボタンを使って [トークン] に移動し、[OK] を押します。

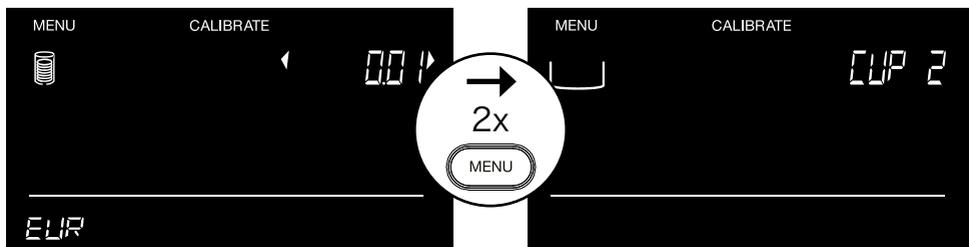
手順は、前章で説明したバウチャーの較正と同じです。バウチャーの較正と比較すると、2 つの違いがあります。



1. この装置には、20 枚のトークンを置くように要求されます。
2. トークンの重さを計量するには、付属のコインカップを使用する必要があります。つまり、20 個のトークンを装置に配置する前にコインカップに入れる必要があります。

## 6.8.2 つ目のコインカップの較正

Safescan 6175 は、標準重量 33.5g のコインカップを自動認識します。現金引き出しに異なる重さのカップがある場合、Safescan 6175 がそれを認識できるように設定できます。



[OK] を押すと、カップを置くためのプロンプトが表示されます。



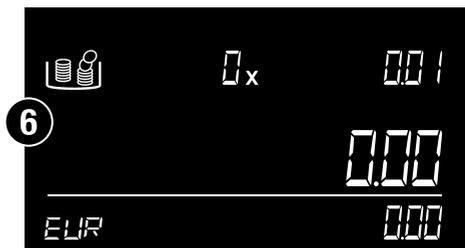
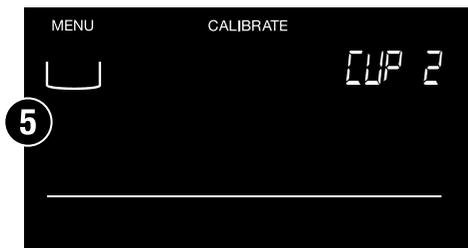
カップの重量が処理されたことが機器に表示されます。



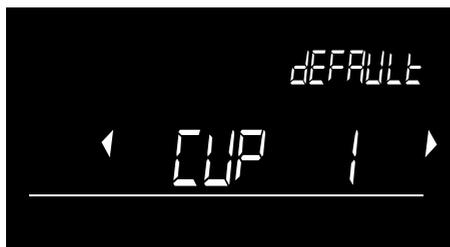
[OK] を押して、較正を確認します。



これで、カップの較正が完了しました。



[OK] を押して、カウント画面に戻ります。



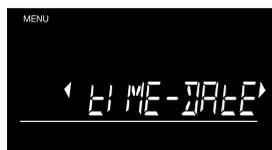
それから、Safescan 6175 を起動すると、デフォルトで本機に付属しているカップ（カップ 1）と較正されたカップ（カップ 2）のどちらを優先的に設定するか確認されます。（◀▶）ボタンを使って、好みの設定にするカップを選びます。選択した内容は、自動的に保存されます。

## 6.9.デバイスの設定

Safescan 6175 は、標準重量 33.5g のコインカップを自動認識します。現金引き出しに異なる重さのカップがある場合、Safescan 6175 がそれを認識できるように設定できます。[OK] を押して、このメニュー項目に入ります。[デバイスの設定] モードでは、(◀▶) ボタンを使用してサブ項目をナビゲートします。



### 6.9.1.サブメニュー - 構造



6.9.2 - A を参照



6.9.2 - B を参照



6.9.2 - C を参照



6.9.2 - D を参照



6.9.2 - E を参照



6.9.2 - F を参照



6.9.2 - G を参照



6.9.2 - H を参照



6.9.2 - I を参照



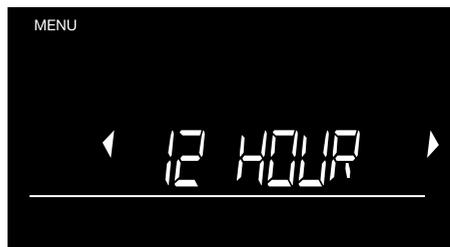
6.9.2 - J を参照

## 6.9.2.時刻と日付の設定

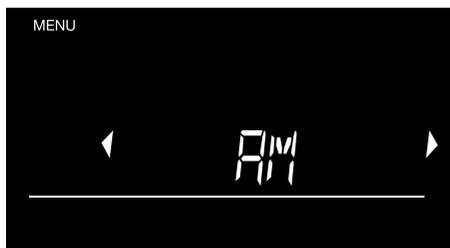
### A. 時刻と日付の設定



[OK] を押して、[時刻-日付] の設定プロセスを開始します。



(◀▶) を使用して 12 時間形式と 24 時間形式を切り替え、[OK] を押して確定します。



(◀▶) で AM と PM を切り替え、[OK] を押して確定します。



ここで、時間が点滅し始めます。(◀▶) を短く押すと、1 時間単位で増減できます。[OK] を押して確定します。



これで、分が点滅し始めます。(◀▶)を短く押すと、1分単位で増減できます。**[OK]**を押して確定します。



(◀▶)を使用して、日付の形式をナビゲートします。**[OK]**を押して、希望する形式を確認します。ここで、年、月、日を同じように設定します。



設定された日時の短いプレビューが表示されます。次に、6175 はサブメニューに戻ります。

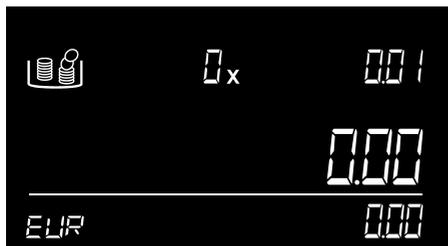
## B. 自動追加

**[自動追加]** を有効にすることで、Safescan 6175 はカウントした通貨単位を、台から取り出した時点で自動的に集計結果に加算できます。**[自動追加]** 機能は、初期状態では常にオンになっています。この機能がオフになっている場合は、**[OK]** を押して金額を合計に追加する必要があります。



この機能を有効または無効にするには、**自動追加**画面が表示されているときに **[OK]** を押します。

(◀▶) を使用して**オン**と**オフ**を切り替え、**[OK]** を押して確定します。



本機はカウント画面に戻りません。

## C. 自動移行

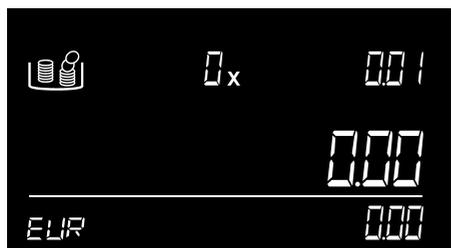
---

**[自動移行]** を有効にすることで、アイテムが台から取り除かれると、自動的に次の通貨単位に切り替わります。この機能がオフの場合は、(▶) を使用して次の通貨単位に移行します。デフォルトでは、自動移行の設定は**オン**になっています。



この機能を有効または無効にするには、**自動移行**画面が表示されているときに **[OK]** を押します。

(◀▶) を使用して**オン**と**オフ**を切り替え、**[OK]** を押して確定します。



本機はカウント画面に戻ります。

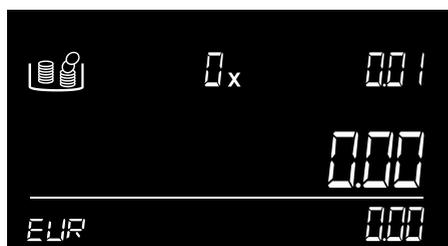
## D. 自動銀行

自動銀行機能を有効にすると、Safescan 6175 では、新しいカウントを開始するたびに銀行金額を設定するよう求められます。



この機能を有効または無効にするには、自動追加画面が表示されているときに **[OK]** を押します。

(**◀▶**) を使用して**オン**と**オフ**を切り替え、**[OK]** を押して確定します。



装置はカウント画面へ進みます。

## E. 自動 REF

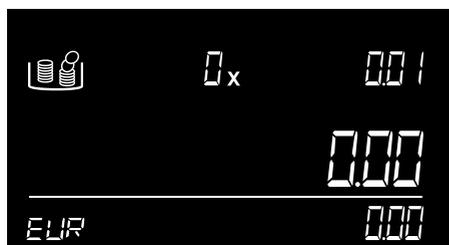
---

自動 REF 機能を有効にすると、Safescan 6175 では、新しいカウントの開始時に参照番号を挿入するよう求めます。



この機能を有効または無効にするには、**自動追加画面**が表示されているときに **[OK]** を押します。

(◀▶) を使用して**オン**と**オフ**を切り替え、**[OK]** を押して確定します。



装置はカウント画面へ進みます。

## F. ロードセルを再校正する

---



Safescan 6175 のロードセル/計量エレメントが（過負荷または強い衝撃によって）損傷した場合は、再校正が必要な場合があります。

1. **[OK]** を押して、再校正を開始します。
2. 本機は [テアリング] を開始し、台の上に 500 g のおもり\*を載せるように指示します。
3. 500g のおもりを置くと、本機は自動的に校正を開始します。画面の中で、テキスト: [サンプリング] が点滅します。
4. 処理が完了すると、デバイスに終了しました。おもりをマネー台から取り外してください。デバイスは使用可能な状態になりました。

\* 500 g の校正用おもりを [www.safescan.com](http://www.safescan.com) で購入できます。ホームページで見つからない場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。

## G. 地域の設定

---



電源をオンにした後、Safescan 6175 を使用する地域（場所）を選択します。（◀▶）矢印ボタンを使用して、**欧州、英国、米国、東南アジア、オーストラリア**を切り替えることができます。**[OK]** を押して確定します。

## H & I. 工場出荷時の設定に戻す



**[OK]** を押すと、リセットを開始します。Safescan 6175 を最初の設定に戻りたい場合は、デバイスを工場出荷時の設定にします。デフォルト：コインパッケージのユーザー較正を維持したまま、初期設定にリセットできます。デフォルト **[全較正]**：ユーザー較正やコインパッケージを含む初期設定にリセットします。

**警告：** デフォルト **[全較正]** リセットオプションを選択すると、較正された項目などのカスタマイズされた設定がすべて削除され、すべての基本設定が再起動時から適用されます。

EUR、GBP、USD、HKD の設定済みコインロールデータを再読み込みするには、通貨更新ツールを実行し、設定済みコインロールデータを装置に含めるかどうかを問うポップアップが表示されたら **[はい]** を選択してください。その後、**[装置に保存]** を押して、このデータを Safescan のマネーカウントスケールに再度保存します。

## J. ファームウェアの更新



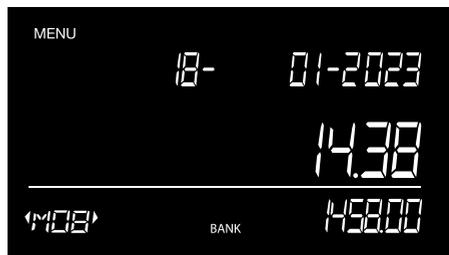
**[OK]** を押して、ファームウェア更新モードに設定します。ファームウェアの更新（該当する場合）は、**www.safescan.com** から入手できます。

ファームウェア更新パッケージをダウンロードし、同梱の説明書に従って Safescan 6175 を更新してください。

### 6.10.保存された集計結果を見る



保存したカウント結果を表示するには、**[OK]** を押します。



最後に保存したカウントのカウント番号 (M#) が点滅を開始します。矢印キー (◀▶) を使用して、対象通貨のカウント数に移動し、**[OK]** を押して結果を表示します。

- 矢印キー (◀▶) を使用して、カウント結果を表示します。
- 前のステップに進むには、**[CE]** ボタンを使用します。
- **[OK]** を押して、選択したカウント結果を印刷します。

## 6.11.すべてのカウントを消去

---



**[すべて消去]** 機能を開くには、**[OK]** を押してください。



**[すべて消去]** の文字が点滅し始めます。**[OK]** を押すと、装置からすべてのカウント結果が消去されます。

## 7. カウントメニューと操作

---

カウントメニューには、カウント中やカウント後に便利な機能がすべて含まれています。このメニューでは、以下の操作ができます。

- 結果の保存
- カウントに参照番号を付加する
- 銀行値を設定する
- 結果の印刷

### 7.1. カウントメニューを開く

---

**[OK]** を押してカウントメニューを開きます。

- カウントメニューは、カウント中いつでもアクセス可能です。
- カウントメニューは、空のマネー台でのみ開くことができます。

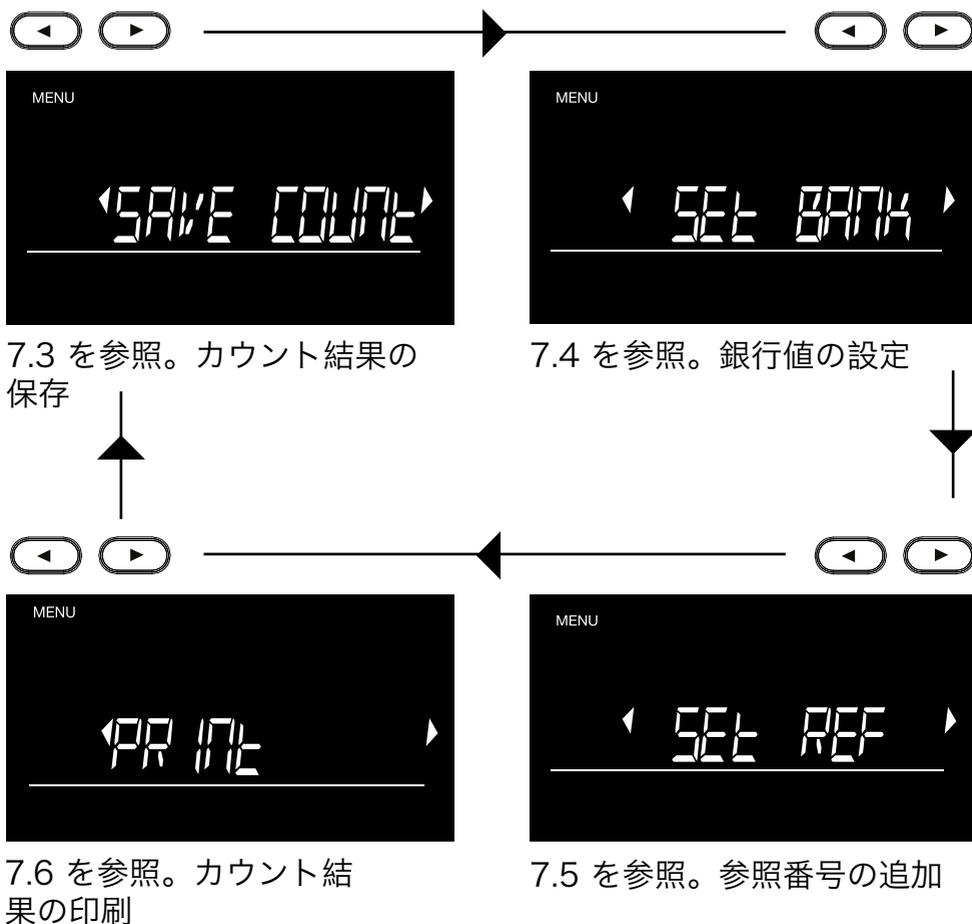
**[OK]** を押すと、最初の機能**[カウントを保存]**が表示されます。  
(◀▶) キーでさまざまな機能进行操作し、**[OK]** を押して一つを選択します。



2つの矢印キーが点滅している場合は、利用可能なメニュー項目間で移動することが可能です。

## 7.2.カウントメニュー構成

(◀▶) キーで各機能の間を移動し、[OK] を押して一つを選択します。メニュー構成は、以下のとおりです。



## 7.3.カウントを保存する

---

カウント結果は、**[カウントを保存]** 機能で装置の内蔵メモリーに保存できます。そして、都合の良いときに処理できます。



**[OK]** カウント結果を保存します。



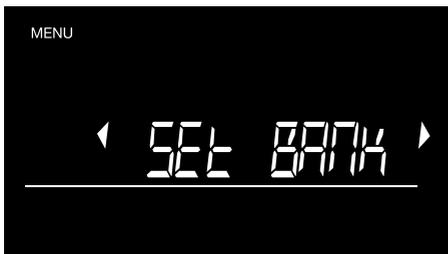
カウント結果が装置に保存されるようになりました。左下にリンク先のメモリー番号が表示されます。

---

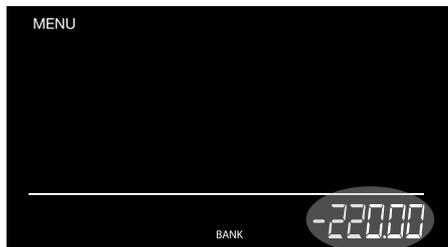
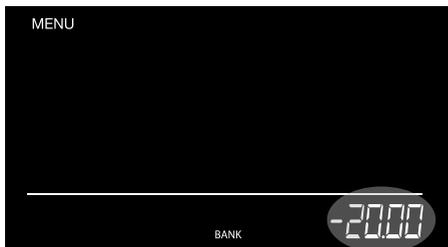
カウント結果を保存すると、装置はカウント画面に戻ります。カウントメニューの他の機能を使いたい場合は、もう一度 **[OK]** を押してカウントメニューを開いてください。

## 7.4.銀行の設定

[銀行の設定] オプションを使用して、現金引き出しの開始値を挿入できます。



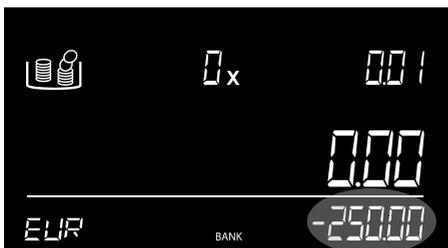
[OK] を押して銀行機能を選択し、現金引き出しの開始値を入れます。



(◀▶) キーで銀行値を入れ、[OK] を押して確定します。

または

(◀▶) キーを長押しすると、より大きな銀行値を入力できます。数字が自動的に上がります。[OK] を押して確定します。

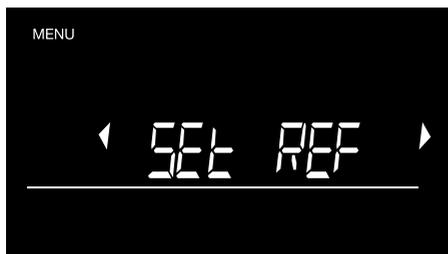


銀行値がマイナスのスタート結果として表示され、合計カウントから差し引かれます。

銀行値を設定すると、本機はカウント画面に戻ります。カウントメニューの他の機能を使用したい場合は、もう一度 [OK] を押して、カウントメニューを開いてください。

## 7.5.参照番号を設定する

参照機能を使用して、カウント結果に参照番号を紐付けることができます。この番号は、特定の現金引き出しや従業員に紐付けられることができます。



**[OK]** を押して、参照番号を設定します。



(◀▶) ボタンを使って、1桁目の数字を設定します。  
**[OK]** を押して、枚数を確認します。2桁目が点滅し始めます。

もう一度 **[OK]** を押して、設定した参照番号を確定するか、(◀▶) キーを使って最初のステップを繰り返し、2桁目と3桁目を設定します。

### 注記:

REF 設定機能を開くと、以前に設定した参照番号が表示されます。(◀▶) キーでさまざまな番号を入力し、**[OK]** を押して、その番号を使用できます。

**[CE]** を押して、新しい参照コードを入力します。

参照を追加すると、本機はカウント画面に戻ります。カウントメニューの他の機能を使用したい場合は、もう一度 **[OK]** を押して、カウントメニューを開いてください。

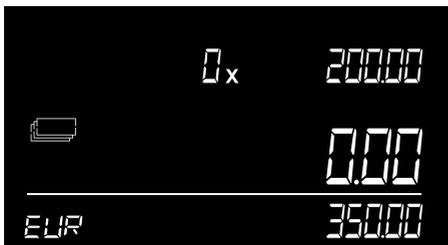
## 7.6.印刷



カウント結果を印刷するには、まず Safescan TP-230 プリンターを接続し、**[OK]** を押してください。



Safescan TP-230 の印刷中は、**[印刷中]** の文字が表示されます。



プリンターが終了すると、装置はカウント画面に戻ります。カウントメニューの他の機能を使用したい場合は、もう一度**[OK]** を押すと、カウントメニューが表示されます。

## 8.トラブルシューティング

---

この章では、Safescan 6175 の操作方法と、メニュー構成について説明します。

### エラーメッセージ



### 説明

#### 問題点 - チェック項目

コインロールのコイン検出枚数不正/紙幣束の紙幣検出枚数不正



#### 解決策:

コインロール/紙幣束に欠品や余分なコイン/紙幣がないかを確認してください。これを修正し、再度カウントします。6175 は、紙幣の重量の許容範囲が広いいため、不完全な紙幣束を検出できません。



#### すべて削除

[OK] を押した後も台の上にまだアイテムが存在するか、風袋測定中に通貨台が空ではありません。

## エラーメッセージ



## 説明

### 解決策:

[OK] を押すか、新しいコマンドを入力する前に、すべてのアイテムの台をクリアします。6175 が風袋引きをしている間、台の上に何らかの物体も置かないようにしてください。

## カウントされる数量が正しくありません

## カウントされる数量が正しくありません。

起動時にコインカップがすでに機器にセットされているかどうか確認してください。その場合、カップの重量は自動的に風袋引きされ、間違ったカウントになります（コインのみ有効）。計数中にマネー台が取り外され、置かれているかどうかを確認します

### 解決策:

- カップを台から取り外して、台の上に再度置くか、デバイスを再起動します。6175 の電源を入れるときは、カップを台の上に置かないでください。
- カウント中にマネー台を（再度）移動しないでください

## エラーメッセージ



## 説明

## オーバーロード

マネー台に過度の重みが置かれています

## 解決策:

台からすべての重量を取り除きます。メッセージが消えた場合は、通常通り 6175 を使用してください。メッセージが残っている場合は、6175 の電源を切り、電源を入れ直します。メッセージが頻繁に表示されるか、または消えない場合は、Safescan カスタマーサクセスチームにお問い合わせください。



## メモリがいっぱい

カウント結果を保存するメモリがいっぱいになりました。

## 解決策:

1. [メニュー] を押し、(◀▶) ボタンを使用して、に移動して、全カウントの結果を消去します。(6.11 章をご参照ください。)



2. 6175 を MCS に接続し、のカウント結果をタブでダウンロードします。タブ [データカウント] で、ご利用のパソコンにダウンロードします。

## エラーメッセージ



## 説明

### 削除 ... - ...個

はかりの重量が高すぎて、6175 がコインや紙幣の正確な量を判断できません。

### 解決策:

6175 が数字を判別できるようになるまで、表示された数だけコインや紙幣をマネー台から取り出してください。カウントを続けます。紙幣は、必ず一度に最大 25 枚まで積み上げられるように置いてください。

同じ通貨単位で 2 つのバージョンのカウントが可能な場合:

マネー台で最初に積み上げる紙幣は、10 枚を超えない。

その後の紙幣の積み重ねは、15 枚を超えない。

## エラーメッセージ



## 説明

**一部削除**  
紙幣計数のみ有効です。体重計の重さは非論理的です。紙幣の重量公差が原因で、6175は台の上の紙幣の正確な量を特定できません。



**解決策:**  
6175 が番号を識別できるようになるまで、少量の紙幣を取り出します。カウントを続けます。紙幣は、必ず一度に最大 25 枚まで積み上げられるように置いてください。同じ通貨単位で 2 つのバージョンのカウントが可能な場合:

マネー台で最初に積み上げる紙幣は、10 枚を超えない。

その後の紙幣の積み重ねは、15 枚を超えない。

## エラーメッセージ



### 説明

バッテリー残量低下  
電池残量が 5% 未満です。



### 解決策:

電源アダプタを接続して充電してください。このメッセージは、Safescan LB-205 の電池が挿入されているときのみ表示されます。



### 不具合

ロードセルに不具合があり、計量・計数ができません。

### 解決策:

Safescan カスタマーサクセスチームまでご連絡ください

## 9. 充電電池（別売）

---

### 9.1. Safescan LB-205 充電電池の取り付け

---

1. 電源アダプタを取り外します。
2. マネー台をスケールから取り外します。
3. デバイスを裏返し、バッテリーの蓋を開けます  
(3.1 章を参照)。
4. 電池を電池ボックスに入れ、配線を接続し、蓋を閉めます。
5. マネー台をスケールに置きます。
6. 電源アダプタを接続し、充電します。

### 9.2. 二次電池の状態表示

---

- 起動時：内側のセグメントが5秒間点滅している -> バッテリー充電中。
- 起動時：すべてのセグメントが5秒間点滅した後、バッテリーアイコンが点灯している -> バッテリー 100% 充電済み。



- デバイスの電源はバッテリーのみです。
- フルバッテリーオン -> バッテリー残量 100%。



- バッテリーインジケータの半分が満たされている\* -> バッテリー残量 50% 以上
- バッテリーインジケータの半分が連続点滅している -> バッテリー残量 20% 未満



- 電池切れ表示が点滅\* -> バッテリーが空（バッテリー残量が 5% 未満）。画面で [バッテリー残量低下] というメッセージが点滅している場合は、電源アダプタを接続してバッテリーを充電してください。

注：負荷を何度も繰り返すと、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。これは、充電式バッテリーを使用する場合によくあることです。

## 10.更新

---

デバイスと通貨の更新に関する詳細については、[www.safescan.com](http://www.safescan.com) を参照してください。

ファームウェアの更新ファイルは、メニューの[ファームウェアの更新]オプションを介してデバイスにロードされます。(6.9.2 - J を参照)。

重量表の更新は、無料の通貨更新ソフトウェアツールを介して行われます。このソフトウェアは、ファームウェアの更新を自動的にチェックし、最新のウェイトテーブルファイルを 6175 にロードします。

更新方法は、更新パッケージ内に記載されており、[www.safescan.com](http://www.safescan.com) からダウンロードできます。

## 11.安全に関する注意事項

---

### Safescan 6175

**警告！ 次の注意に従わない場合、短絡や、やけど、感電、火災の危険といった深刻な負傷につながるおそれがあります。**



- 破損した電源アダプタ/電源コードは絶対に使用しないでください。
- 必ず付属の電源アダプタを使用してください。
- デバイス、電源アダプタ、コードを液体や湿気にさらしたり、濡れた手で触れたりすることは絶対にしないでください。
- 濡れた手で電源アダプタに触れたり、接続/切断したりしないでください。
- 本機を別の場所に移動する場合は、必ず主電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 装置を主電源コンセントから外すときには、必ずプラグを持ってください。コードは引っ張らないでください。
- 装置に液体や化学（洗淨）用洗剤を絶対にこぼさないでください。
- 装置に液体をこぼした場合は、必ず主電源から電源を外し、バッテリー（装着されている場合）を取り外して、Safescan に連絡して指示を受けてください。

### 注意！ 製品または計量器の損傷



- 異物（コイン、ペーパークリップ、ホチキスなど）が機械に落ちないようにしてください。これらは、機械部品や機械の計量要素をブロックし、それらを損傷または破損させ、保証を無効にする可能性があります。
- 6175 を常に平らで安定した面に配置し、マネー台の周囲をきれいに保ってください。
- デバイスの損傷や誤動作を防ぐため、デバイスは乾いた布で拭いてください。濡れた布や湿った布、または（化学）洗淨剤を使用しないでください。

## 注意！本機の誤作動や破損のリスク



- 精密な計量器と同様に、計量結果はかなりの気流の影響を受けます。そのため、冷却ファン、エアコン、開いた窓などの近くでデバイスを使用しないでください。
- 慎重に計量台にアイテムを置き、投げたり落としたりしないでください。
- - 6175 を落としたり、叩いたり、振ったりしないでください。
- - 6175 の上に 1.5 kg を超えるものを置かないでください。
- - Safescan 6175 は、偽札を識別できません。
- - 本機を分解しないでください。保証が無効になります。
- - デバイスが使用されていないとき、または長期間保管されているときは、コインカップを含め、マネー台に何も置かないでください。
- - ほこりや汚れの多い環境では使用しないでください。センサーが誤動作する原因となります。
- - 長期間使用しない場合は、電源プラグを外し、装置の損傷が発生する可能性を回避してください。
- - デバイスの破損を防ぐため。別売の Safescan LB-205 充電式バッテリーのみを使用してください。

## BATTERY LB-205（別売の製品）

### 警告！火傷、火災の危険、毒物混入 重傷を負う危険性



- - バッテリーを火、熱、水に近づけないでください。
- - バッテリーが腐食しているとき、または液漏れが発生しているときは、絶対に素手で触れないようにしてください。

### 注意！破損、漏出



- - 長期間使用しないか、保管しておく場合は、デバイスからバッテリーを取り外してください。
- - バッテリーの廃棄は、現地の規制に従ってください。

## 12.別売の付属部品

---

### 充電池

Safescan LB-205 バッテリー

### 感熱式レシートプリンター

Safescan TP-230

### Money Counting Software

Safescan MCS

### 計量式コインカップセット

Safescan 4141CC

Safescan 4617CC

## 13.仕様

---

### 特徴

- コイン、紙幣、紙幣束、コインロールの計数用マネーカウントスケール。
- カウント結果をメモリーに保存
- カウントに参照番号を付加する
- 精密計量器としても使用可能（注：[検定付きはかり]ではありません）。

### 通貨

地域によって異なります。詳しくは、[www.safescan.com](http://www.safescan.com) をご覧ください。

**寸法 (LxWxH)** 22.3 x 14.2 x 14.7 cm / 8.8 x 5.6 x 5.8 inch

**ディスプレイ** 4.1 インチハイコントラスト液晶

**インターフェース** USB-B (PC)、RJ-10 (プリンター)

**電源条件** 電源 12V/0.5A

### 消費電力

**動作時 最大2.4W (バッテリー充電なし)**

**動作時 最大6W (バッテリー充電含む)**

**スタンバイ/アイドルモード時 最大 50mW**

**動作温度** 0~40°C

**保存温度** -25~55°C

**最大積載量** 1.5 kg/3.3 lbs

**最高精度** 0.05 gr

**正味重量** 660 gr/23 oz

**認証** CE、FCC、RoHS

**Safescan®**

---

**Safescan B.V.**

PO Box 7067, 2701AB Zoetermeer, NL

欧州設計 - 中国製

[www.safescan.com](http://www.safescan.com)

© 2023 Safescan. All rights reserved

Safescan® は、Solid Control Holding B.V. の登録商標です

---

[www.safescan.com](http://www.safescan.com)

20231